

令和2年度 横浜市予算

ひと目でわかる 横浜の財政

子ども版

マリノスケと
学ぼう!!



プラスチックごみを減らそう! SDGsの取組

みなさんは、SDGsとは何か知っていますか？SDGsとは、現在直面しているたくさんの課題に対して、世界を変えたい、未来をより良いものにしたいという思いから、2015年に国連で採択された2030年に向けて世界の解決すべき課題を17にまとめた全世界共通の目標です。目標の解決に向けた取組の1つとして、横浜市では、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題に関心を持ってもらうため、山梨県道志村にある水源林の間伐材を使って、「SDGsストロー・ヨコハマ」という木のストローを作っています。この取組を通じて、きれいな水や空気を作る森の大切さ、プラスチックごみが生物に与える影響を一人ひとりが知り・考えることで、いろいろな問題解決に使っていたお金の節約につながります。



エスディージーズ SDGsストロー・ヨコハマ



かこうふきんが 河口付近に流れ着いたプラスチックごみ



クジラなど 様々な動物が 食べてしまつて、 問題になって いるよ



令和2年度 横浜市予算 ひと目でわかる横浜の財政 子ども版

発行：横浜市財政局財政課 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10
TEL:045-671-2231 FAX:045-664-7185 E-mail:za-zaisei@city.yokohama.jp
©Y.F.MARINOS/SCBF

詳しくはホームページを
ご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/jokyo/>

2020年4月



編集協力者：教育委員会事務局教育課程推進室 指導主事 宮野 雅樹、教育委員会事務局西部学校教育事務所 主任指導主事 桑 秀治、教育委員会事務局北部学校教育事務所 指導主事 大滝 文平(2020年3月現在)、教育委員会事務局南部学校教育事務所 主任指導主事 赤羽 博明
※横浜マリノス株式会社と横浜市との「横浜市の財政広報に関する連携協定」に基づき、この冊子を作成しています。



朝の時間

朝、学校に行くときに通る通学路だね！

道路の修繕や清掃も横浜市の仕事なのよ
新しい道路を作ることもね



学校の時間

学校の建物を直したり
みんなが快適に勉強できるようにエアコンを設置したりしているの

はー！



放課後の時間

放課後は公園で遊ぼう！

公園を維持管理するのも横浜市の仕事よ！



休日

僕の休日も横浜市の仕事がたくさんあるんだね！

動物園にも横浜市の仕事がかかっているのよ！

横浜市の仕事って？



僕の名前はマリノスケ！

横浜市の「財政広報大使」だよ！

立派な財政広報大使になるために今日は横浜市の財政のことを勉強しに来たよ！

初めまして！私はエビちゃん！

横浜市財政のことならなんでも聞いてね！

エビちゃん
よこはましぜいぎやくざいせいか
横浜市財政局財政課のマスコット。
evidence(エビデンス)(=根拠)に
よこはま ざいせい おし
基づいて横浜の財政のことを教えます！

マリノスケ
よこはま
横浜のプロサッカークラブ、
よこはま
横浜F・マリノスの公式キャラクター。
えいえん しょうがく ねんせい
永遠の小学5年生！



ねえねえエビちゃん、横浜市ってどんな仕事をしているの？

OK！じゃあマリノスケの一日を通して見てみましょう！

Let's Go!

入ってきたお金の使いみち (市民1人あたり)

子育て・教育に	154,512円 (33.3%)
みんなの生活、健康に	125,788円 (27.1%)
道路・家屋・街づくりに	45,079円 (9.7%)
市の仕事の計画、選挙、議会に	44,040円 (9.5%)
経済の発展に	26,441円 (5.7%)
地球温暖化対策、緑・公園・下水道に	26,190円 (5.7%)
地域の人との交流やスポーツ、区の運営に	14,700円 (3.2%)
ごみの処理や減量・リサイクルに	11,618円 (2.5%)
救急・消防に	11,309円 (2.4%)
地下鉄・バス・水道に	4,336円 (0.9%)

合計 464,013円

僕の大好きな
スポーツにも
使っているんだね!

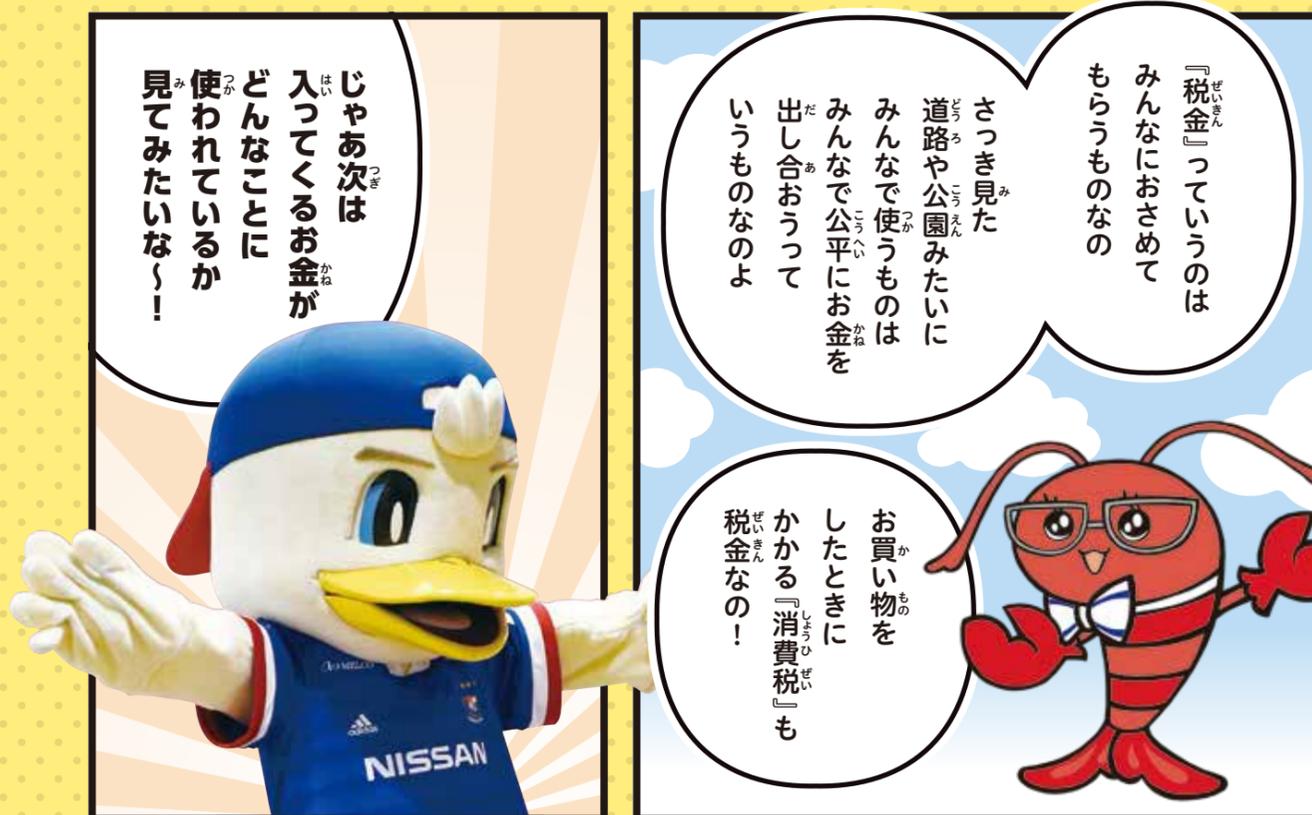


かっさ

マリノスケみたいなお子もたちのために
たくさんのお金を
使っていることが
わかるでしょ



入ってくるお金、使うお金



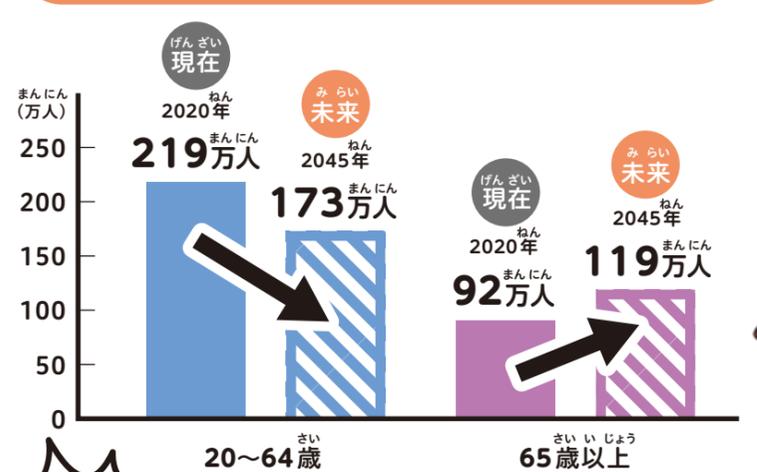
みんなで作ろう、みんなの横浜!



もっと詳しく知りたい!



横浜の現在と未来の年齢別人口グラフ



お年寄りが増えると、医療や年金、介護※3などに使われる税金が増えるとされているの



さらに、生まれてくる子どもの数が減ると、税金をおさめる人が減ってしまうわ



公園の維持管理のために

横浜に住む人 1人あたり **1,824円**



ごみの処理や減量・リサイクルのために

横浜に住む人 1人あたり **11,618円**



※1 生まれてくる子どもの数が減り、お年寄り(65歳以上の人)の数が増えていくこと ※2 年を取った時なども安心して暮らしていくため、国から受け取るお金 ※3 お年寄りや病気になった人の世話をすること